

レジュメ

自然と自然史に興味をもつきっかけを作ってくれる絵本

真鍋 真

自然や博物館が好きな大人たちの原点に、絵本が大きな役割を果たしていることがある(真鍋, 2017; 阿部, 2015)。長く読み継がれてきたロングセラー絵本の中には、科学の進歩とともに内容が古くなってしまいうものもある。「せいめいのれきし」(バートン, 1964)の 50 年ぶりの改訂版づくりに参加した経験などから、絵本と自然科学の付き合い方について考えてみたい。

1. 「せいめいのれきし」

「せいめいのれきし」はバージニア・リー・バートンによる原書が 1962 年にアメリカで出版され、日本版は 1964 年に石井桃子の訳で岩波書店から出版された。筆者が子供の時に大好きだった絵本の一つである。46 億年の地球の歴史における生物進化を、5 幕 34 場の絵と文章で、化石という形でその存在が記録されている生物たちが、地球という舞台の上で演じるお芝居のような構成になっている。

日本版の出版から 50 年経ち、恐竜など古生物学や地球科学の最新の知見に照らし合わせると、古くて、正しくない内容が含まれてしまうようになった。2009 年にアメリカで文章を加筆修正した、Updated Volume が発行されていることから、日本語版も文章だけを最低限に修正することになり、筆者が監修することになった。筆者は当初、一つの作品である「せいめいのれきし」を、後世の第三者が加筆修正するよりも、新しい絵本を作った方が良く考えていた。しかし、ロングセラーであることは世代を越えて、読書体験を共有してきた歴史がある。親から子へ、孫へと絵本を読みつぐ、共有するという行為は、ロングセラーでないと作り出せない価値である。

2. 「せいめいのれきし」との付き合い方

「せいめいのれきし」は、絵巻物のような書籍で、そのあらすじを簡潔にまとめるのが難しい本でもある。絵に比べて文章が難しいので、(1)絵を見て楽しむ、(2)絵と文章を楽しむ、(3)具体的な登場生物を図鑑や他の書籍で調べて楽しむなど、年齢や発達に応じて、多様な活用方法が考えられる。(3)では図鑑やほかの書籍を参照する活動にもつながる。(1)、(2)と進むのが一般的だが、(2)に行く前に(1)から(3)に進むこともあるだろう。巻末の博物館の見取図で遊ぶ子どももいる。各自の成長によって、異なった付き合い方がある。解説本(真鍋, 2017)やほかの絵本を読むことによって、「せいめいのれきし」の中で語られた進化の物

語が理解しやすくなる、多角的に理解できるようになるという効果が実感できる作品である。

3. 子どもたちが自然と自然の歴史に興味をもつきっかけを作ってくれる本

「せいめいのれきし」が地球を舞台に登場人物を時代ごとに紹介して行くのに対して、地球上の生物がみな一つの起源を持つことを伝えるために、生命の歴史を振り返るように解説しているのが「いのちのひろがり」(中村 2015)である。現行の学習指導要領では DNA は中学校の学習内容であるため(狭間, 2016)、本書には DNA という単語は出てこない。しかし、地球上の動物、植物、菌類はすべて DNA をもっていることから、地球上の生物は共通の祖先をもっていたと考えられることを補足しても良いだろう。出血した時に、自分の血をなめたら塩っぱかったという経験をしたことはないだろうか。「ながいながい骨の旅」(松田, 2017)では、魚から両生類を経て、上陸に成功した私たちの祖先だが、私たちの骨は陸上で重い体を支えるとともに、骨髄の中で血を作る役割を担っている。血液の中の血漿は海水の成分に近いことから、塩っぱさを感じさせている。海水はナトリウム、マグネシウム、カリウムなどで構成されているが、血の中にナトリウムやカリウム、骨の中にマグネシウムを持つことによって、陸上生活する私たちも、体の中に海を持ち続けていると本書は説明する。血漿など血の成分も中学校での学習内容だが(狭間, 2016)、本書を使って一足先に解説をすることも選択肢だろう。「Grandmother Fish」(Tweet, 2016)のように、魚から私たち哺乳類への進化のつながりを時間軸だけでなく、系統樹をたどるように理解することは、自然科学的な思考として重要な経験になるだろう。

引用文献：

阿部彩子, 2015. 解説：「信念」を「科学」に変える. in 阿部豊著「生命の星の条件を探る」, 文藝春秋: 232-238.

狭間章博, 2016. 学校で人体について何を教えているか. 日本生理学会誌, 78(2): 35-40

バートン, バージニア・リー (石井桃子訳), 1964. せいめいのれきし. 岩波書店: 77p.

中村桂子, 2017. いのちのひろがり (松岡達英・絵). 福音館書店: 42p.

松田素子, 2017. ながいながい骨の旅 (川上和生・絵). 講談社: 36p.

真鍋 真, 2017. 深読み!絵本「せいめいのれきし」. 岩波科学ライブラリー, 260: 114p.

Tweet, Jonathan, 2016. Grandmother fish (illustrated by Karen Lewis). A Feiwel and Friends Book: 40p.